

令和 3(2021)年度第 1 回
八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会会議録

開催日時	令和 3(2021)年 9 月 24 日 (金) (意見報告期限)
開催場所	書面により開催
八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員	<p>【委員 23 名】</p> <p>【大田原市】 小林会長、玉木副会長、白石委員、磯委員、高橋委員、岡野委員、伊藤委員、吉岡委員、佐藤委員、</p> <p>【那須塩原市】 荻原委員、村山委員</p> <p>【那須町】 鈴木委員、阿久津委員</p> <p>【那珂川町】 矢内委員、薄井委員</p> <p>【棚倉町】 村越委員、松本委員</p> <p>【矢祭町】 古市委員、布川委員</p> <p>【埴】 鈴木委員、星委員</p> <p>【大子町】 大藤委員、石井委員</p>

本懇談会については、八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員出席の元、令和 3 (2021) 年 9 月 30 日 (木) 午後 1 時 30 分から大田原市役所南別館会議室 1 にて開催を予定していましたが、茨城県及び栃木県の緊急事態宣言発出に伴い、都道府県間の移動を自粛し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることを目的に書面開催といたしました。

議題

(1) 令和 3 (2021) 年度八溝山周辺地域定住自立圏連携事業について

○説明要旨

(資料について)

・「資料 1」として令和 3 年度の連携事業の各市町予算措置状況を一覧とした表が記載してあります。青色の色塗りをしてある事業が、連携市町から負担金をいただいて実施している事業です。「資料 2」として、今年度の事業のうち会議やイベント等を一覧にして進捗状況をまとめてあります。

(負担金事業など主な事業の実施内容について：資料 1)

・「健康増進事業」は、平成 30 年度まで大田原市の単独の予算で実施していました「ウォーキング推進事業」が、使用していたスマートフォン等アプリの提供終了に伴って終了したことから、新たな事業内容を部会内で検討した結果、令和 2 年度より新たに「健康セミナー」を連携市町から負担金をいただいて実施することといたしました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送りました。今年度につきましても、100 万円の事業費が予算に計上されていますが、新

型コロナウイルス感染症の終息が見通せず、また、現在、各市町においてワクチン接種を最優先に進めていることから、実施は未定となっています。

- ・「広域観光推進事業」は、各市町の地域資源、特産品等の観光資源を活用した情報発信等を行う事業で、200万円の事業費が計上されています。過去には、旅行雑誌への広告記事掲載やフォトコンテストの開催、とちぎテレビとのタイアップ番組の作成等に取り組んできました。今年度につきましては、やはり新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、圏域外からの積極的な誘客、人を1か所に集めるイベント等の開催は難しいことから、現在、産業観光部会において、Web上での圏域の魅力発信事業等の検討を行っています。今後は、アフターコロナやウィズコロナを意識したオンラインツアーやバーチャル体験等、圏域の魅力発信事業を中心に検討を進めていく予定となっています。
- ・「圏域内特産品販路拡大事業」は、平成29・30年度に実施したスタンプラリーが好評だったため、令和元年度も引き続き「八溝山周辺道の駅等を巡るスタンプラリー」を開催いたしました。施設への来場だけでなく、施設内での買い物等を達成条件とした賞を設定する等の見直しを加えて実施いたしました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送りましたが、今年度につきましても200万円の事業費を計上しており、広域観光推進事業と同様に、現在、産業観光部会において、コロナ禍であっても実施可能な事業の検討を行っています。
- ・「防災研修会等実施事業」は、令和元年度は「災害対応における市民の役割と行政の役割」と題した講演会を棚倉町、大田原市で開催し、それぞれ153人、310人の聴講者がありました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送りましたが、今年度は、オンライン研修会の実施について検討しています。20万2千円の事業費を計上しています。
- ・「無料法律相談実施事業」は、現在、八溝山周辺地域定住自立圏の連携事業として、平成26年11月より栃木県弁護士会に業務委託し、6市町（棚倉町及び埴町を除く）による無料法律相談を実施しております。費用につきましては、これまで大田原市の単独予算としておりましたが、近年、大田原市以外の利用者の割合が増加していることから、令和3年度から負担金事業とさせていただきます。矢祭町につきましては、これまでの利用実績がなく今後の利用について希望されないとの理由から負担金は0円とさせていただきます。事業費は122万2千円です。現在は、感染症対策及び利用人数を限定し実施しています。
- ・「ポータルサイト構築・運営事業」は、平成27年に構築した構成市町の観光やイベント情報を発信するポータルサイトの維持、運営に係る経費として50万円を計上しています。令和元年度は、平成30年度に負担金事業として作成した「広域サイクルマップ」の掲載ページへのリンクバナーの設置、また同様に負担金事業として実施した「八溝フォトコン」の審査結果発表ページを作成し掲載したほか、スタンプラリー・婚活イベント情報を開催に合わせて掲載し、昨年度は、連携事業である

「3 県 8 市町パネル巡回展 八溝山を巡る文化財」の情報を掲載しました。今後も連携事業の掲載のほか、構成市町、共通の地域課題等を掲載し、サイトの充実を図ります。

- ・「結婚促進対策事業」は、圏域内の市町を会場にした出会いのイベントを開催するため、200 万円の事業費を計上しています。令和元年度は、婚活パーティーを大子町と大田原市を会場にそれぞれ 1 回ずつ開催し、延べ男性 31 名、女性 27 名の参加があり、9 組のカップルが成立しました。それらに加え、初めての試みとして「独身の子を持つ親御様のための婚活セミナー&座談会」を那須町のホテルにて開催し、25 名の参加をいただいております。今年度につきましては、これまでの効果検証を踏まえ、より効果的な内容での事業実施を検討してまいりましたが、やはり新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント開催が困難な状況と判断し、昨年度と同様に、中止の決定をいたしました。
- ・「スポーツイベント等実施事業」のうち、「野球教室」は、小学生・中学生を対象とした野球教室を開催するため、100 万円の事業費を計上しています。令和元年度は、東京ヤクルトスワローズの真中満元監督による小学 5・6 年生を対象とした野球教室を開催し、参加者は 49 名でした。昨年度も開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止の決定をいたしました。
- ・「ソフトボール教室」は、50 万円の事業費を計上しています。令和元年度は HONDA 女子ソフトボール部による小中学生を対象とした教室を開催し、3 市町から 247 名の参加がありました。なお、矢祭町様、埴町様、大子町様は小中学生のチームがないとのことですので、部会の検討を踏まえ、負担金をいただかず、その分は大田原市が負担することとしています。昨年度も開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止の決定をいたしました。
- ・「剣道教室」は、30 万円の事業費を計上しています。平成 29・30 年度には平成 28 年度の全日本選手権優勝者を講師に招き、多くの連携市町からの参加がありました。令和元年度及び昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止の決定をいたしました。
- ・「ミニバスケットボール大会」は、20 万円の事業費を計上しています。令和元年度は那珂川町総合体育館及び大田原市黒羽体育館で開催し、186 名の参加がありました。参加するだけの教室スタイルではなく、圏域内の交流が図れる事業内容で、参加者からも大変好評でしたが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止の決定をいたしました。
- ・「硬式テニス交流大会」は、成人男女を対象とした大会の開催経費として 30 万円の事業費を計上しています。令和元年度初めての開催でしたが、4 市町から 34 名の参加がありました。成人を対象としたスポーツイベントはこの大会のみとなります。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止の決定をいたしました。

- ・これら、「スポーツイベント等実施事業」は12月から2月頃に開催を予定しておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえて、部会において「開催」「中止」の決定を行います。
- ・「職員研修実施事業」のうち「職責や年代別の職員研修会」です。50万円の事業費を計上しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止の決定をいたしました。今年度につきましては、現在、開催の可否も含めて検討しています。

(令和3年度のイベント等について：資料2)

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から既に中止・延期となったイベントもあり、また、それ以外にも多くのイベント等が、新型コロナウイルス感染症の影響により内容や時期について見直しを迫られている状況です。現在、各部会において、オンライン等を活用したコロナ禍でも実施可能な代替事業の検討を進めているところではありますが、スポーツイベント等実施事業等、今後の状況によってはさらに多くのイベント等が中止となる可能性もあります。そのような状況ではありますが、八溝山周辺地域定住自立圏の結びつきを維持し、より強めていくと共に、アフターコロナやウィズコロナを意識した取組を検討し、より一層圏域の魅力の発信に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

○委員意見

委員

ドクターヘリの導入・運航については、福島県3町と茨城県1町から各県への要望活動が必要です。福島県と茨城県では盛り上がりに欠けています。

委員

事業に対する考え方として重要なことは、平常時と緊急時の二つの視点に基づく対応能力を有した整備推進を討議すべきであると思う。全ての協議実施計画は安心安全を最重要課題とし、それに伴い市民並びに参加者の権利と義務を明確にし、安定した運営を心掛けることが良いと思います。

(2) 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョンの変更について

○説明要旨

(共生ビジョンの変更点について)

- ・配布した共生ビジョン変更案については、変更箇所を赤字で記載してあります。誤字脱字等の修正を除いた今回の変更点は、先ほど資料1でお示しした各事業

の令和3年度事業費について記載をしたことと、本日の会議を含めた、定住自立圏の会議日程等を記載したことの2点です。具体的には、共生ビジョン26頁からの「定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組」について、27頁から61頁に各事業の事業概要と事業費を記載していますので、それぞれ「事業見込額」の令和3年欄に本年度の事業費の計を記載しました。2点目については、共生ビジョン65・66頁で、「共生ビジョン策定の主な経緯」の最後に本年度の会議及び共生ビジョン変更の予定について追記いたします。共生ビジョンは、この後、懇談会委員の皆様からのご意見等をお伺いしたうえで、所定の見直しを行い、11月5日に開催する推進協議会において決定します。

○委員意見
意見なし

(3) 事業提案等、その他意見

○委員意見

委員

平成25年に大田原市が中心市宣言をし今日に至る間、気候変動問題、デジタルテクノロジーの急速な発展、喫緊では新型コロナウイルス感染症など、グローバルかつ我々の身近な問題としてクローズアップされています。

このような中で今般の「やみぞハッピープロジェクト(案)」については、従来思考の範疇に留まり、少しもの足りなさを感じます。自然災害の多発と甚大化への備え、デジタルトランスフォーメーションによる行政サービスの向上、社会・経済活動の活性化など、定住促進を促す上で、今や欠かせない要件であると思います。プロジェクト(案)の効率的な達成のためにも、ご検討いただければ幸いに存じます。

委員

アフターコロナ、ウィズコロナを意識した取組を検討し、より一層圏域の魅力の発信に取り組んでいきたい旨、説明資料の掉尾に言及されておられますが、現実的には大変苦勞されている事と存じます。今後共、情報共有を密にされて、鋭意、腐心されん事を希求致します。

以上